

令和4年度

SCRUM 8 EIGHT 八戸圏域連携中枢都市圏 八戸都市圏スクラム8

# 学生&高校生 まちづくり コンペティション

入場無料  
申込不要

令和5年2月4日(土) 13:30~16:30 @はっちひろば

学生・高校生の皆さんが地域を元気にするための  
助成金を活用した活動の成果を発表します！

## 活動成果発表団体

※各団体の活動内容は裏面をみてね！



みんなで  
協働

### 【高校生の部】

- ◇八戸西高等学校
- ◇八戸工業大学第二高校
- ◇八戸商業高等学校
- ◇八戸高等支援学校
- ◇千葉学園高等学校

### 【学生の部】

- ◇八戸学院大学 男女ラグビー部
- ◇八戸学院大学短期大学部  
スマイルヒーローズ
- ◇八戸工業高等専門学校 ろぼっと娘
- ◇八戸学院大学 大木ゼミ



当イベントの詳細  
過去の発表の  
様子はコチラ！

発表事業の中で、地域への貢献度が  
特に高いと認められる事業を市長が  
表彰します。





# ★発表団体紹介★



## 高校生の部

※八戸圏域高等学校地域活動促進事業助成金を活用した事業をご紹介します！

### エクササイズで運動不足を解消！



八戸西高等学校

／おうちでできる簡単エクササイズと動画制作

コロナ禍による運動不足解消や健康長寿の延伸を目的に、運動強度を考えながらエアロビクスやストレッチを取り入れたエクササイズを制作したほか、動画を作成しYouTube配信を行いました。

### 介護予防体操をリニューアル！



八戸工業大学第二高等学校

／「はしかみ」簡単エクササイズ

高齢者の介護予防を目的に、大学等の協力のもと、階上町民歌「光のふるさと」に合わせた介護予防体操のリニューアルのほか、DVDを作成し、インターネット配信など普及活動を行いました。

### 八戸の魅力を高校生目線で発信！



八戸商業高等学校

／八商発！郷土愛 ～地域と共に～

社会において即戦力となる人材育成や、八戸圏域の魅力発信による集客力向上を目的に、地域の理解を深める調査・研究を行い、地域の課題解決や活性化につながる商品やアプリを開発するほか、圏域内のイベント等で広報活動を行いました。

### 学びを活かした地域の憩いの場作り



八戸高等支援学校

／みんなで進めよう！協働のまちづくりプロジェクト

地域での体験や交流を通して、生徒のコミュニケーション力の向上、地域に対する愛着と誇りを持つ人材育成を目的に、地域の環境保全活動や校内カフェ「カフェ854」の運営、交流イベント「さめりんピック」の企画・運営等を実施しました。

### 縄文文化をオリジナルグッズで発信！



千葉学園高等学校

／「縄文にときめく」～オリジナルグッズでもっと縄文が好きになる～

生徒の縄文への新たな魅力発見や、服飾手芸に関する知識や技術を通じて、地域に貢献できる人材育成を目的に、縄文土器や土偶をモチーフとするグッズ制作や販売、グッズの制作体験を実施しました。



八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町の8市町村では、学生や高校生の皆さんが取り組むまちづくり活動を支援しています。



## 学生の部

※学生まちづくり助成金を活用した事業をご紹介します！

### ラグビー教室で運動機会の創出！



八戸学院大学 男女ラグビー部

／八戸学院大学 放課後ラグビー教室

ラグビー体験により子どもたちに運動の機会を提供するとともに、グループトークで課題解決力を養うことで多様化する社会に適応するための人間力向上を目的とし、八戸市内の小中学生を対象としたラグビー教室を開催しました。

### 体操教室による世代間交流！



八戸学院大学短期大学部 スマイルヒーローズ

／体操で笑顔になろう「だれでも参加できる体操教室」

学生が考案したオリジナル体操教室を通して、高齢者と幼児と一緒に体を動かすことで、楽しみながらかつ意欲的に運動習慣を身に付けるとともに、互いの能力や知識を共有することでより親密な世代間交流を目指す取組を行いました。

### プログラミングの楽しさを伝える！



八戸工業高等専門学校 ろぼっと娘

／ろぼっと娘と遊ぼう！学ぼう！プロジェクトー小中学校プログラミング必修化に伴う教材制作と授業研究ー

小中学校のプログラミング教育の必修化に対応し、今年度も引き続き生徒のプログラミング思考への抵抗軽減と教員の負担軽減を目的として、オリジナル教材作成及び授業プランの制作を行うとともに、圏域内の小中学校に出向き、学生自らが講師となり、出前授業を実施しました。

### 障がい者との共生社会に向けて！



八戸学院大学 大木ゼミ

／三八圏域における知的・精神・発達障がいのある人による社会参画の促進

障がいのある方が、自らの持ち味や個性を活かした共同制作を実施し、さらに公共施設への作品展示を行うことで、障がいのある方の自己肯定感や積極性の向上を目指すとともに、地域理解への働きかけを行い、共生社会の形成を図りました。